

研究プロジェクト5 「宣教師関係資料研究」

大江 満

宣教師関係資料は、戦前まで立教学院の経営母体であった米国聖公会の伝道機関誌『スピリット・オブ・ミッションズ』(Spirit of Missions/ 1836-1938) とその後継誌『フォース』(Forth/ 1940-1959) が基幹資料となる。立教学院史資料センターでは二〇〇八年度から二〇一四年度にかけて、最初の米国聖公会遣日宣教師が来日した一八五九(安政六)年から後継誌終刊年にあたる一九五九(昭和三四)年までの一世紀を対象とした『立教関係記事集成』を、立教学院二五〇年史資料集として、五巻と別巻(最終巻)にわたり抄訳付で刊行した。また当センターは、日本聖公会管区事務所所蔵の米国聖公会遣日宣教師書簡群(通称ジャパン・レコーズ/ Japan Records)のマイクロフィルムの複写版を、日本聖公会管区事務所と共有することになり、この膨大な書簡群の目録作業も二〇一五年度に完了した。現在は、立教学院幹部関係、池袋キャンパス移転関係、大学令による大学設立関係などから重要資料を選定して、翻訳作業をおこなっている。

二〇一三年五月に立教創立者ウィリアムズ主教遺品資料(手稿資料と蔵書)が、劣化防止のため日本聖公会京都教区から移管された。それらは、手稿資料(直筆ノートなど)、蔵書類(図書)、ウィリアムズ宛書簡などに分類されるが、前者二つを合わせて七七五点、受信書簡は約五〇〇通におよぶ。特に選定された貴重な手稿資料は、複数年計画で脱酸化処理など必要な修復保全を施す措置を講じ、修復を終えた資料は中性紙箱に収納されている。五〇〇点以上ある蔵書類(図書)は一冊ごとに寸法を計測した中性紙箱に収納し、オリジナル図書は手稿資料ともに非公開とし、耐火室(場所未定)で永久保存の予定にしている。現在、研究者閲覧用のために(公開時期未定)、デジタル撮影(スキヤニング)を複数年計画でおこなっており、二〇一七年度以降は、それらを出した紙資料を整備するとともに、そのDVD版を作成する計画を進めている。

二〇一六年度は、選抜したウィリアムズ直筆資料や署名・押印のある蔵書群などの主要資料一二六点を収載した図録(三浦健司氏撮影)を発行した。図録の巻末には、掲載した主要資料以外にも含めた全てのウィリアムズ主教移管資料の目録を付した。